

令和8年3月12日

令和7年度第1回群馬県循環器病対策推進協議会

# 群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター (ぐんまのうしん)の取り組み

群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター長  
群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野  
石井秀樹

## 全体目標

2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

## 個別施策

循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

### 1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃からの国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

### 3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

### 2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

## 循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- (2) 他の疾患等に係る対策との連携
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
- (4) 都道府県による計画の策定
- (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
- (6) 基本計画の評価・見直し

### <循環器病の特徴と対策>



令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業にお  
実施法人の選定について

概要

- 令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業につい  
4年2月25日に公示した「令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援  
センター事業公募要綱」（以下、公募要綱という）において、以下のと  
行うこととしていた。  
（公募要綱掲載先：[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_24113.htm](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24113.htm)）

【公募要綱抜粋】

7. 採択方法

選考に当たっては、循環器病対策推進協議会の下に設置された総合支  
員が審査を行う。

審査に当たっては、原則、書面審査により行うこととし、総合支援に係  
都道府県における循環器病対策推進計画のこれまでの進捗状況、自治体の  
な要因などについても考慮に入れ、全体としてのバランスを踏まえて決定

- 公募要綱に基づき、28自治体32病院からの応募があり、病院か  
た事業計画書等について、総合支援委員会による書面審査を行った  
の10自治体12病院を選定することとした。

別表

No	都道府県	事業者名
1	宮城県	国立大学法人東北大学東北大学病院
2	茨城県	国立大学法人筑波大学
3	栃木県	学校法人獨協学園獨協医科大学病院
		学校法人自治医科大学
4	富山県	国立大学法人富山大学付属病院
5	三重県	国立大学法人三重大学医学部付属病院
6	京都府	京都市立医科大学付属病院
		国立大学法人京都大学
7	徳島県	国立大学法人徳島大学
8	香川県	国立大学法人香川大学
9	福岡県	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
10	熊本県	国立大学法人熊本大学熊本大学病院

令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業にお  
実施法人の選定について

概要

- 令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業については、  
月1日に公示した「令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル  
網」（以下、公募要綱という）において、以下のとおり採択を行うことと

【公募要綱抜粋】

7. 採択方法

選考に当たっては、循環器病対策推進協議会の下に設置された総合支  
員が審査を行う。

審査に当たっては、別添の令和5年度脳卒中・心臓病総合支援センタ  
【評価書】に基づき、原則、書面審査により行うこととし、総合支援に係  
都道府県における循環器病対策推進計画のこれまでの進捗状況、自治体  
な要因などについても考慮に入れ、全体としてのバランスを踏まえて決定

- 公募要綱に基づき、24都道府県27医療機関からの応募があり、医療機  
された事業計画書等について、総合支援委員会による書面審査を行った。
- 書面審査の結果を取りまとめ、評価点及び昨年度の実績を含めた全体の  
考慮した上で、総合支援委員会にて別表のとおり15府県の医療機関を採  
別表

No	都道府県	事業者名
1	青森県	国立大学法人 弘前大学
2	岩手県	学校法人 岩手医科大学
3	埼玉県	学校法人 埼玉医科大学
4	神奈川県	東海大学医学部付属病院
5	石川県	国立大学法人 金沢大学附属病院
6	福井県	国立大学法人 福井大学医学部附属病院
7	長野県	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
8	大阪府	国立研究開発法人 国立循環器病研究センタ
9	兵庫県	国立大学法人 神戸大学医学部附属病院
		地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院
10	奈良県	公立大学法人 奈良県立医科大学
11	鳥取県	国立大学法人 鳥取大学医学部附属病院
12	広島県	国立大学法人広島大学 広島大学病院
13	愛媛県	愛媛大学医学部附属病院
14	佐賀県	佐賀大学医学部附属病院
15	長崎県	国立大学法人 長崎大学病院

令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業にお  
実施法人の選定について

概要

- 令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業については、令和6年1  
月25日に公示した「令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業公募  
要綱」（以下、公募要綱という）において、以下のとおり採択を行うこととしていた。

【公募要綱抜粋】

7. 採択方法

選考に当たっては、循環器病対策推進協議会の下に設置された総合支援委員会の委  
員が審査を行う。

審査に当たっては、別添の令和6年度脳卒中・心臓病総合支援センターモデル事業  
【評価書】に基づき、原則、書面審査により行うこととし、総合支援に係る内容の他、  
都道府県における循環器病対策推進計画のこれまでの進捗状況、自治体の規模、地理的  
な要因などについても考慮に入れ、全体としてのバランスを踏まえて決定する。

- 公募要綱に基づき、18都道府県22医療機関からの応募があり、医療機関から提出  
された事業計画書等について、総合支援委員会による書面審査を行った。
- 書面審査の結果を取りまとめ、評価点及び令和4年度と令和5年度の本モデル事業  
の採択状況なども含めた全体のバランスを考慮した上で、総合支援委員会にて別表の  
とおり12都道府県の医療機関を採択した。

別表

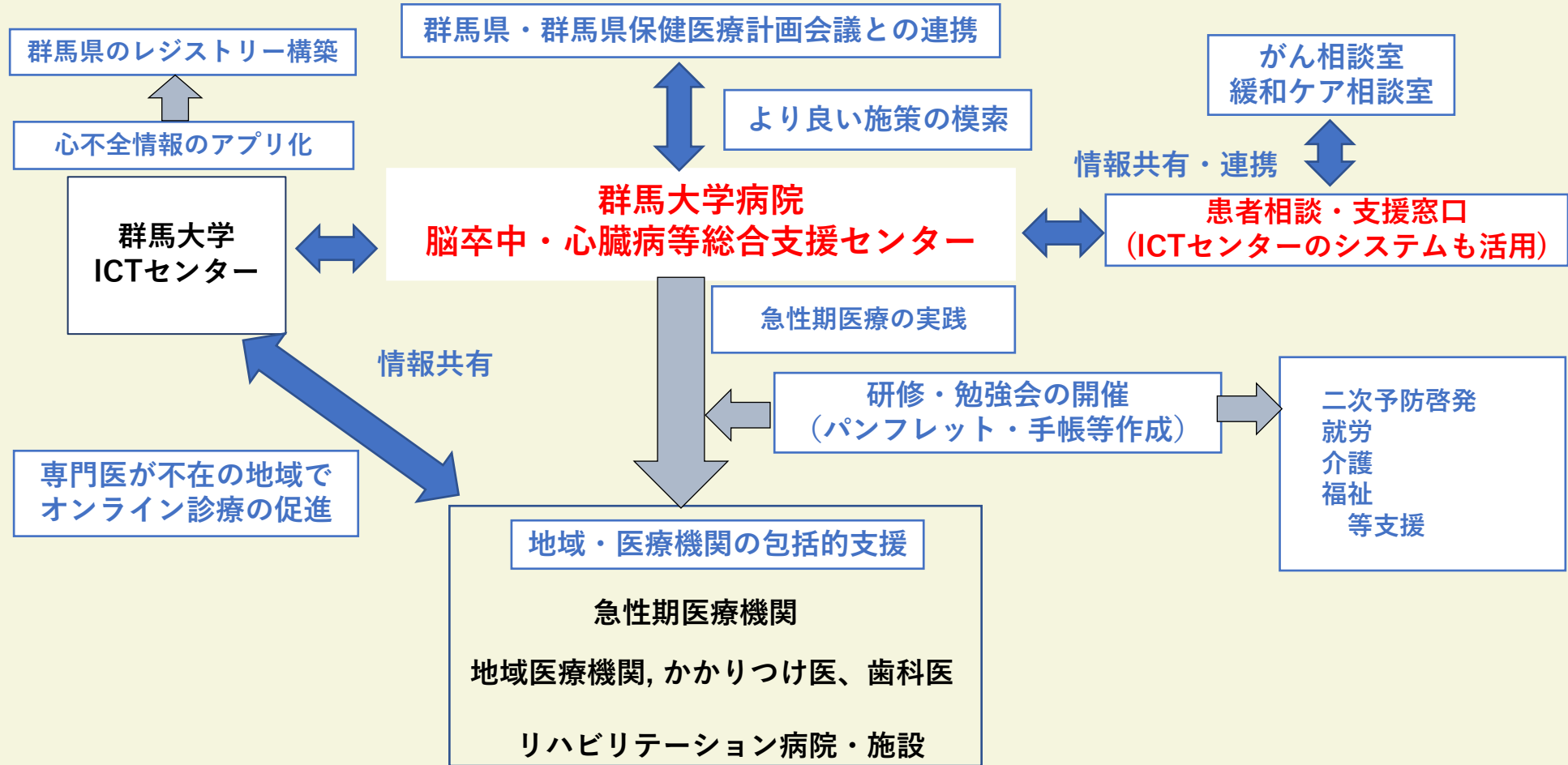
No	都道府県	事業者名
1	北海道	国立大学法人 北海道大学病院
2	山形県	国立大学法人 山形大学医学部附属病院
3	群馬県	国立大学法人 群馬大学医学部附属病院
4	東京都	学校法人 日本医科大学付属病院
		公益財団法人 榊原記念財団附属榊原記念病院
		日本赤十字社 武蔵野赤十字病院
5	山梨県	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院
6	岐阜県	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学医学部附属病院
7	滋賀県	国立大学法人 滋賀医科大学医学部附属病院
8	和歌山県	公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院
9	岡山県	国立大学法人 岡山大学病院
10	山口県	国立大学法人 山口大学医学部附属病院
11	宮崎県	国立大学法人 宮崎大学医学部附属病院
12	鹿児島県	国立大学法人 鹿児島大学病院

# 令和5年群馬県の死因別死亡数

死因	令和5（2023）年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
感染症及び寄生虫症	30	36	30	47	43	40	30	37	38	29	48	45	453
新生物<腫瘍>	539	461	501	540	551	480	564	528	538	514	563	506	6,285
うち、悪性新生物<腫瘍>	512	445	479	526	535	470	545	505	523	479	543	492	6,054
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	3	7	8	3	8	2	2	6	8	8	4	5	64
内分泌、栄養及び代謝疾患	56	37	36	35	38	23	40	24	38	44	20	37	428
精神及び行動の障害	46	38	37	35	43	36	41	48	48	37	44	55	508
神経系の疾患	106	100	78	76	72	75	67	71	91	89	79	116	1,020
眼及び付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>循環器系の疾患</b>	<b>869</b>	<b>652</b>	<b>649</b>	<b>560</b>	<b>519</b>	<b>451</b>	<b>537</b>	<b>527</b>	<b>488</b>	<b>598</b>	<b>607</b>	<b>709</b>	<b>7,166</b>
呼吸器系の疾患	429	337	325	262	268	242	252	257	280	300	308	361	3,621
消化器系の疾患	108	72	101	76	73	82	71	72	80	92	99	98	1,024
皮膚及び皮下組織の疾患	6	6	4	6	5	2	3	5	5	4	2	5	53
筋骨格系及び結合組織の疾患	23	17	21	18	18	13	13	19	21	23	16	18	220
腎尿路生殖器系の疾患	90	77	84	60	67	55	65	66	82	80	70	96	892
妊娠、分娩及び産じょく	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周産期に発生した病態	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5
先天奇形、変形及び染色体異常	1	3	5	1	2	1	4	3	3	3	3	2	31
異常検査所見等で他に分類されないもの	305	259	248	234	233	190	230	233	256	236	269	324	3,017
傷病及び死亡の外因	136	110	108	108	105	79	70	83	97	109	99	129	1,233
特殊目的用コード	293	91	34	13	17	22	28	48	47	39	43	48	723
令和5(2023)年 合計												<b>26,743</b>	

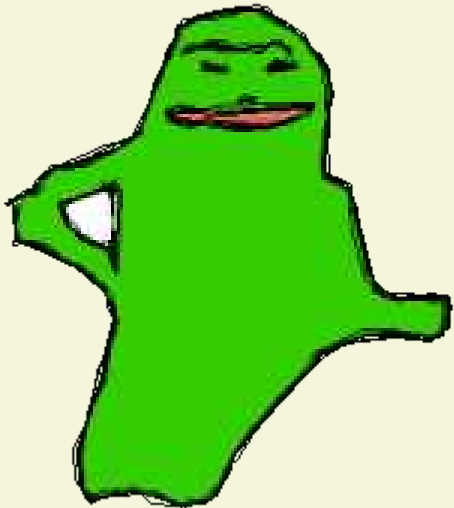
厚生労働省「人口動態調査」より

# 脳卒中・心臓病等総合支援センター（概要図）



# 脳卒中・心臓病等総合支援センターの役割

キャラクター  
ぐんまのうしん君



群馬県  
群馬県保健医療計画会議  
・地域医療機関との連携

患者診療・支援

## 急性期・慢性期医療の充実

大学病院ならではの高度医療の実践、緊急手術対応、インフラ整備

- ・脳卒中超急性期医療連携
- ・急性冠症候群医療連携
- ・解離性大動脈など大血管緊急症に対する連携
- ・希少疾患の治療、遺伝子解析など
- ・科をまたいだ連携・多職種カンファ

- 連携施設の拡充
- 脳卒中、急性心筋梗塞、心不全連携パスを作成し、県内で悉皆性を持った医療を行う
- 患者会の支援（肺高血圧症で実践済み）
- 患者支援窓口など社会復帰を支援する
- 遺伝性疾患、希少疾患の啓発・治験

## 教材・パンフレット・ICTシステムの活用

患者支援に、これまでの実績に加え、新時代に向けた新たなツール活用

- ・群馬県脳卒中手帳
- ・群馬県心不全手帳
- ・県公式アプリ「G-WALK+」
- ・アプリによる記録入力実装

- 県内全域への手帳周知と配布
- アプリの宣伝とその活用
- レジストリー構築による臨床研究
- ICTシステムにより診療（専門医不在地域への支援）

## 地域の医師、住民に対する勉強会

- ・心不全療養指導士の育成
- ・様々な分野からなるチームを構成し、疾患枠を超えて脳卒中と心臓病に対する知識や緩和ケアについてを習得。

- かかりつけ医に対する講習会・勉強会開催
- ICTの活用
- Youtubeによる配信
- 多国語による疾患・検査・治療説明画を作成、広く周知する。

## 患者相談・支援窓口の充実

がん診療連携拠点病院で培ったノウハウを、脳卒中・心臓病にも生かす

# 2024年度の当センター（ぐんまのうしん）の様々な活動

## 1. 群馬大学における“ぐんまのうしん”ホームページ開設

## 2. 脳卒中・心臓病などに関する教育・啓発活動

ハートの日 上毛新聞へ啓発記事掲載

世界脳卒中デー 上毛新聞へ脳卒中記事掲載

健康と医療を考える 県民講演会

脳卒中における意思決定支援研修会

心臓病患者に対するACP勉強会

## 3. 群馬脳卒中救急医療ネットワーク（GSEN）

2024/11/26 GSEN全体会での説明

## 4. 脳卒中相談窓口連携会議の開催

## 5. 群馬心不全地域連携協議会との共同活動

多数の動画作成：心不全療養指導士受験者むけ動画など

## 6. 心不全療養指導士養成事業

群大に於いて2024年度に新たに7名合格し、13名の心不全療養指導士が活躍

## 7. 日本循環器学会とコラボ：ご当地キャラクターニバルinぐんま

すわん君とのうしん君が、禁煙啓発

健康と医療を考える。

日時 2024年11月17日 日 13～15時（開場12:30）

場所 群馬県庁 31・32階（前橋市大手町1-1-1）

参加無料

申込 右の二次元バーコードからお申込みください。  
（事前の申込みがなくても参加可能ですが、準備の都合上、できる限りご協力ください。）

13:05～13:25 「心不全バンデミック迫る！～群馬県では喫緊の対策が必要です～」  
群馬大学医学部附属病院 循環器内科 教授 石井 秀樹 氏

13:25～13:45 「脳卒中にならない！ なってもはね返す！」  
群馬大学医学部附属病院 脳神経外科 教授 大宅 宗一 氏

13:50～14:10 「自転車こいで心不全を早期発見！」  
群馬大学医学部附属病院 循環器内科 教授 小保方 隆 氏

14:30～15:00 「循環器医療の残された課題～小児からの移行期医療や心臓病～」  
群馬大学医学部附属病院 循環器内科 講師 小坂 健 氏

13:00～13:45 健康な食事の作り方～フィズで塩分を学ぼう～

13:00～15:00 正しい検温と血圧測定～親子で白衣体験！聴診器も～

13:00～15:00 一次救命措置 体験コーナー～AEDを使ってみよう～

【主催】群馬大学脳卒中・心不全地域連携協議会、群馬県心不全地域連携協議会、群馬脳卒中救急医療ネットワーク株式会社

【協賛】群馬県医師会、群馬県心不全地域連携協議会、群馬脳卒中救急医療ネットワーク株式会社

お問い合わせ、群馬県 健康福祉部 健康課



# 2025年度の当センター（ぐんまのうしん）の様々な活動

1. 「高血圧の日」イベント（県庁32階）（5月25日）
2. ACP「いきかたノート」の作成→院内倫理審査通過し、活用開始。ACP講演会（7月9日）
3. 講演会「脳血管を守って認知症対策」（7月31日）
4. 講演会「近年の医師国家試験対策から考える循環器疾患の教え方」（8月21日、11月13日）
5. 元気県ぐんま 家庭血圧チャレンジ～県民講演会（渋川市にて高血圧啓発市民公開講座）（10月21日）
6. 健康と医療を考える 県民講演会（川場村 10月26日、道の駅「赤城」 11月30日）
7. ハートの日、脳卒中の日、脈の日などで、県庁昭和庁舎、臨江閣のライトアップ
8. 上毛新聞などを通じた啓発活動（8月10日ハートの日、10月29日脳卒中の日）
9. 脳卒中療養相談士・心不全療養指導士・心臓リハビリテーション指導士養成事業
10. 日本循環器学会とコラボ：ご当地キャラクターニバリinぐんま
11. 国内外での啓発活動



# 群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センターウェブサイトご紹介

ホーム お知らせ センターのご紹介 患者・ご家族の方へ よくある質問 医療関係者の方へ メール相談窓口

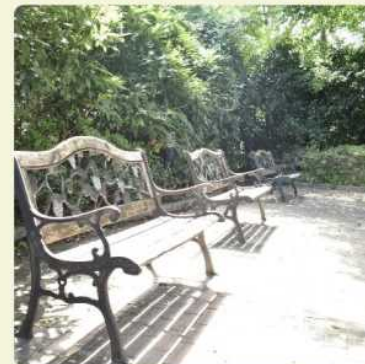
ウェブサイトのご紹介！

## 群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター (通称：ぐんまのうしん)

### 市民公開講座開催



地域の皆様を対象に、脳卒中や心臓病の予防や治療法について学べる市民公開講座を定期的で開催しています。



### 研修会・勉強会



地域の医療機関向けに、研修会や勉強会を開催、地域全体での医療体制の強化を図り、安心して治療を受けられる環境づくりを支援します。



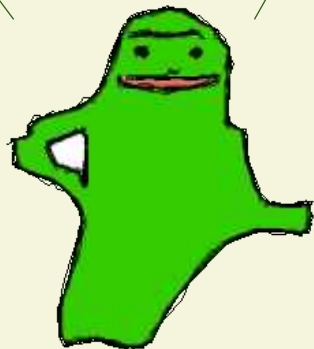
### 情報発信・ICT



患者さんのサポートを強化するため情報発信しています。また、ICT(情報通信技術)を活用し、効率的かつ充実した支援を目指しています。



2024年9月1日に  
開設しました！



### 相談窓口

患者さん・ご家族向けの相談窓口

脳卒中や心臓病の患者さん、ご家族が安心して相談できる窓口を設置しています。メールでの相談も受け付けていますので、お気軽にご利用ください。

メール相談はこちらから



# 群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センターウェブサイトご紹介

お知らせ一覧 →

## 新着情報

News



「移行期医療」「睡眠時無呼吸」の話題を掲載しました！「移行期医療」「睡眠時無呼吸」とも、聞きなれない言葉かもしれませんが、専門医からわかりやすいお話を書いていただいております。是非ご覧ください！



石井  
|センター長|

群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター（通称：ぐんまのうしん）発信の新着情報です。



世界脳卒中デー  
新聞記事ご紹介



12/5群馬県メディカル  
スタッフ勉強会のご案内



脳梗塞治療の進歩  
の話



10月29日世界脳卒中デーと群馬県の  
取り組み



心臓と対話してみませんか？（心不全と運動の関係）



10月29日 世界脳卒中デーに向けた群馬県の取り組み

疾患について知ろう

Understanding Disease



脳卒中とは



心臓病とは



10月17日の上毛新聞に掲載いただきました！



令和6年秋「前橋・高崎・太田医療圏における心不全の早期診断プロジェクト」キックオフ



先天性心疾患の成人への移行期医療体制



睡眠時無呼吸症候群と循環器疾患



試験を使った心不全の早期診断事業「運動負荷試験を使った心不全の早期診断事業」の終了報告会



研修医・医学生・検査学生向けPOCUSハンズオンセミナーのご案内



2024年11月17日、群馬県庁31・32階にて公開講座が開催されます。



健康のためのマラソンに潜む危険性—ぐんまマラソンを前にスポーツドクターのつぶやき—



本センター開設について、9月1日の上毛新聞に掲載いただきました！



9月1日「群馬大学脳卒中・心臓病等総合支援センター」ウェブサイトを開設しました。



令和6年度第一回群馬県循環器病対策推進協議会が本学で開催されました。



栄養士のつぶやき第1回（2024年9月）

脳卒中とは

Understanding Stroke

このページでは

・脳卒中は防げる病気であること

・もし脳卒中になってしまったら知っておくべきこと

を紹介します。

- 1 脳卒中とはどのような病気ですか？
- 2 脳出血と脳梗塞の違いは何ですか？
- 3 気になる症状を見逃さないようにしましょう
- 4 脈が飛んだり乱れたりする人は脳梗塞にも注意！
- 5 脳卒中と診断されたあなたへ

## Consultation desk for patients and their families

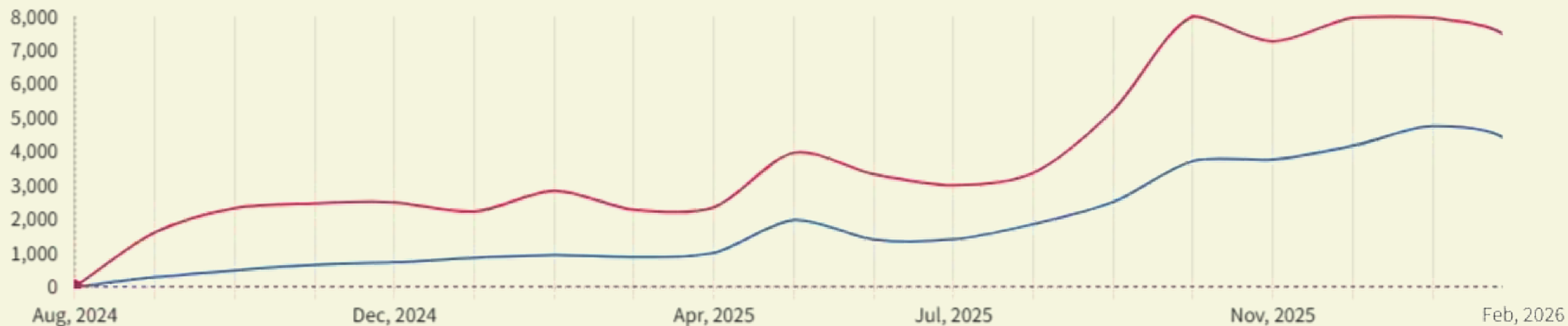
We have set up a consultation desk where stroke and heart disease patients and their families can feel at ease. We also accept consultations by email, so please feel free to use it.

ぐんまのうしんのホームページは  
**6か国語**（日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語）に対応しています。

「栄養士のつぶやき」、「おくすりコラム」、  
「ACPって何？」などのシリーズもあります。

# 当センターWebサイトのアクセス動向

2024年8月- 2026年2月



赤：ページビュー（PV）：75,808

青：ユニークIP数：31,162

# アクセスの月別推移

- ・ イベント・テレビ放映・ゆるキャラ総選挙などで急増
- ・ 全体として右肩上がりの成長傾向

月	ページビュー (PV)	ユニークIP数
2024年11月	約2,500	約650
2025年3月	約3,500	約1,000
2025年8月	約5,200	約2,500
2026年1月	約7,700	約4,600

**2024年秋以降、アクセス数が右肩上がりに増加しています。**

医療従事者向けツール紹介やNHK番組連携などを契機に、一般市民・医療関係者双方からの注目が高まりました。

今後も、信頼性の高い医療情報発信を通じて地域医療連携をさらに推進していきます。

3月9日は  
脈の日

# 自分で検脈 早期発見!

— 脳梗塞や心不全予防に重要です —



群馬大学医学部附属病院  
脳卒中・心臓病等総合支援センター長  
石井 秀樹 先生

運動した際に動悸・息切れがあるのは、  
不整脈や心不全症状かもしれません。  
このような症状があったら、  
かかりつけの先生にご相談ください!

## 「心房細動は不整脈の一種、心不全や脳梗塞の原因に」

心房細動に罹患すると脈が速くなることが多く、動悸がしたり胸が  
苦しく感じたりすることがあります。しかし、脈が速くならないタイプの  
心房細動も半数あり、必ずしも症状があるわけではありません。そこで  
自身で脈を測る自己検脈が大事になります。

心房細動などの不整脈が原因で脳の血管が詰まる、心栓(心臓内  
で発生する血栓)や重症度の高いノックアウト型脳梗塞(心原性脳塞  
栓症)の予防のために検脈をしましょう。



多くの血圧計でも、脈の乱れが表示されます。  
何よりも、血圧を管理することは心房細動の予防には大事です!

群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター キャラクター  
「ぐんまのうしん」

## 自分で脈を測ってみよう!

心房細動を早期発見するには、自分で脈を測る「自己  
検脈」が有効です。

やり方は片方の手首の親指側に反対の手の人さし指、  
中指、薬指の3本の指をあて、血管が脈打つのを確認し  
ます。その回数を1分間に何回あるか測ると自身の脈拍  
数がわかります。



## 脈拍数の目安は?

安静時の脈拍数は、一般  
的に1分間に50~60回が  
正常値です。



100回を超える場合や、不規則な  
脈がある場合は要注意!!

群馬大学  
循環器内科の  
取り組み

## 臨江閣と群馬県庁昭和庁舎を レッドライトアップ!

群馬県では、3月9日の「脈の日」にあわせて、臨江閣と県庁昭和庁舎を  
当該活動のシンボルカラーであるレッドにライトアップいたします。

- 3月9日@~12日@ 臨江閣 / 17:30~23:00
- 3月9日@~15日@ 群馬県庁昭和庁舎 / 日没~22:00



臨江閣



群馬県庁昭和庁舎

■主 催 / 群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター(ぐんまのうしん) 群馬心不全地域連携協議会 ■後 援 / 群馬県

※脳卒中や心臓病についてご質問がある場合、窓口相談やメール相談を受け付けています。お気軽にご利用下さい。

ぐんまのうしん

HPIはコチラ▶



# 心不全 健康管理手帳



受診時にお持ちください

氏名:

使用開始日: 令和 年 月 日~

群馬心不全地域連携協議会

# 群馬県ACS-CCS 地域医療連携バス手帳

受診時にお持ちください

氏名

---

使用開始日

年 月 日~

編集: 群馬心不全地域連携協議会

本手帳の問い合わせ先

群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター

住所 群馬県高崎市 39-15

TEL 027-220-8506

URL <https://gq-hna-heart-brain-center.org/>



※本手帳は高崎市、岡山市などの全国の心臓病手帳を参考に作成しています



## 資材の活用



いきかた  
ノート

自分の人生の終盤、  
自分らしく生きるために、  
医療や生活について考えてみませんか？  
[ACP:アドバンス・ケア・プランニング]

## 循環器疾患患者に 「いきかたノート」の作成

他学からの講演依頼も！

# ぐんまのうしん主催ACPなどの勉強会

・ 2025年1月17日（金） ACP講演会

柳川 まどか 先生（名古屋大学化学療法部（老年内科専門医・指導医））

・ 2025年2月7日（金） 「脳卒中患者の意思決定支援研修会」

宮本 享 先生

（京都大学附属病院脳卒中療養支援センター・もやもや病支援センター長）

藤井 由記代 様

（森之宮病院 MSW）

・ 2025年3月17日（月） ACP講演会

近藤 誠 先生（利根中央病院循環器内科） 「生き方手帳」の実際

佐藤 勝彦様（富岡消防署妙義分署警防第2係長） ACPと消防の関わりについて

・ 2025年7月9日（水） ACP講演会

小坂橋紀通先生「高齢者心不全治療と人生会議(ACP)—そのひとりしさを考えて—」

松村恵子看護師「循環器疾患患者に「いきかたノート」を使用して—看護師の視点—」

# ACP 研修会開催のご案内



ぐんまのうしん君

群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センターでは、2025年1月に続き3月17日にACP(Advance Care Planning)研修会を開催いたします。この研修会は、医療従事者の皆様が終末期医療や意思決定支援に関する最新の知見や技術を学び、深めていただく貴重な機会です。ぜひご参加ください。

日時

2025  
3/17(月) 19:00 ~ 20:00

会場

群馬大学医学部 臨床中講堂 (前橋市昭和町3-39-22)

※オンライン併用でハイブリッド開催

参加料  
無料

定員：100名

講演タイトル

「いきかたノートの実践」

講師

近藤 誠 先生

利根中央病院 循環器内科 部長



講演タイトル

「ACPと消防の関わりについて」

講師

佐藤 勝彦 様

富岡甘楽広域消防本部 富岡消防署  
妙義分署 係長



お申込み

本研修会はZoomウェビナーを使用してハイブリッド開催します。以下の方法でお申し込みください。登録フォーム中に「現地参加/オンライン参加」の選択肢があります。



下記URL/左記二次元コードよりお申し込みください：

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_Sclv1UU7SJe4pg-AqN9bLA](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_Sclv1UU7SJe4pg-AqN9bLA)

※ お申し込みいただいた方には、Zoomウェビナーの参加URLをお送りします。

お申し込み締め切り：2025年3月14日(金)

ウェブサイトでは「メール相談窓口」をはじめ日常生活に役立つコラムなども掲載しておりますので是非ご覧ください。

<https://gunma-heart-brain-support.org/>

群馬大学医学部附属病院  
脳卒中・心臓病等総合支援センター

ぐんまのうしん



主催：群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター / 後援：群馬大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

電話番号：027-220-8536  
住 所：前橋市昭和町 3-39-15  
受付日時：月曜日～金曜日 8:30～16:30(土日祝日・年末年始を除く)  
受付場所：外来棟1階 患者支援センター

# ACP 講演会開催のご案内



ぐんまのうしん君

群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センターでは、ACP(Advance Care Planning)研修会を開催いたします。この研修会は、医療従事者の皆様が終末期医療や意思決定支援に関する最新の知見や技術を学び、深めていただく貴重な機会です。ぜひご参加ください。院外からのご参加も歓迎です。

日時

2025 7/9(水) 19:00 ~ 20:00

会場

群馬大学医学部 臨床大学院講堂 (前橋市昭和町3-39-22)

参加料  
無料

定員：80名



現地開催のみ

●院外から参加される方は病院内駐車場のご利用が可能です。駐車券を会場までお持ちください。

◆申込方法◆ 右のQRコードよりお申し込みください。(事前申込がなくてもご参加いただけます)



講演タイトル

「高齢者心不全治療と人生会議 (ACP)  
～そのひとらしさを考えて～」

講師

小坂橋 紀通 先生

群馬県立心臓血管センター 循環器内科・心臓リハビリテーション部長



講演タイトル

「循環器疾患患者に『いきかたノート』  
を使用して～看護師の視点～」

講師

松村 恵子 看護師

群馬大学医学部附属病院 南病棟 4階看護師  
慢性心不全看護認定看護師・日本循環器学会認定心不全療養指導士



ウェブサイトでは「メール相談窓口」をはじめ日常生活に役立つコラムなども掲載しておりますので是非ご覧ください。

<https://gunma-heart-brain-support.org/>

群馬大学医学部附属病院  
脳卒中・心臓病等総合支援センター

ぐんまのうしん



主催：群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター / 後援：群馬大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

電話番号：027-220-8536  
住 所：前橋市昭和町 3-39-15  
受付日時：月曜日～金曜日 8:30～16:30(土日祝日・年末年始を除く)  
受付場所：外来棟1階 患者支援センター

# 群馬脳卒中救急医療ネットワーク

## GSEN = Gunma Stroke Emergency Network

**2008年4月 日本脳卒中協会の群馬県支部が設立**

**年1回群馬県内の都市を回って脳卒中の予防や治療に関する講演を行う市民公開講座を開催することとなり、GSENの市民啓発ワーキンググループが活動を支援。**

**市民公開講座には600人以上が参加することもある。**

**ザスパクサツ群馬のホームゲームにブースを出して血圧測定などを行い、脳卒中予防の横断幕を持って場内一周し、中年以降の方だけでなく、若い世代のサポーターにもアピール。**

# SCPA Japan 群馬県支部の発足（2025年4月）

## SCPA Japan

- ※ Stroke Care Professionals Association Japan  
→ 群馬県内で慢性期・生活期の脳卒中患者に関わる多職種の連合

### ○ 2025/3/25 第1回SCPA-Japan群馬県支部会開催

SCPA-Japanの結成経緯と活動目的の説明

→ **慢性期および生活期に達した脳卒中患者と家族の支援**

### ○ 2025/6/6 第2回SCPA-Japan群馬県支部会開催

就労支援を目指した両立支援調査の具体的な説明

群馬県内の各職種における脳卒中患者支援問題アンケート調査

脳卒中患者同士、家族同士が繋がる会（脳卒中サロン）に関する

日本脳卒中協会群馬県支部との共同

## SCPA-Japan 群馬支部の構成

群馬県言語聴覚士会  
群馬県薬剤師会  
群馬県作業療法士会  
群馬県医療ソーシャルワーカー協会  
日本脳神経看護学会 関東地方部会  
群馬県理学療法士協会  
群馬県病院薬剤師会  
群馬県病院薬剤師会  
群馬県病院薬剤師会  
群馬県栄養士会  
日本脳卒中協会群馬県支部  
日本脳卒中協会群馬県支部  
群馬県介護支援専門員協会  
群馬県精神保健福祉士会

# 認知症研修会



ぐんまのうしん君

群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センターでは、  
2025年7月31日(木)19:00～20:00 認知症研修会を開催いたします。  
ぜひご参加ください。

日時

2025  
7/31(木) 19:00～20:00

会場

群馬大学医学部 臨床中講堂 (前橋市昭和町3-39-22)  
※オンライン併用でハイブリッド開催

参加料  
無料

定員：100名



講演タイトル

## 「脳血管を守って認知症対策」

講師

池田 佳生 先生  
群馬大学大学院医学系研究科  
脳神経内科学 教授



お申込み

本研修会はZoomウェビナーを使用してハイブリッド開催します。以下の方法でお申し込みください。  
登録フォーム中に「現地参加/オンライン参加」の選択肢があります。



下記URL/左記二次元コードよりお申し込みください：

※ お申し込みいただいた方には、Zoomウェビナーの参加URLをお送りします。  
[https://us06web.zoom.us/join/HKNASKISTW61WkWFMN\\_6kQ](https://us06web.zoom.us/join/HKNASKISTW61WkWFMN_6kQ)  
お申し込み締め切り：2025年7月25日(金)

ウェブサイトでは「メール相談窓口」をはじめ  
日常生活に役立つコラムなども掲載しておりますので  
是非ご覧ください。

<https://gunma-heart-brain-support.org/>



Gunma  
Stroke and  
Cardiovascular Diseases  
Support Center, Gunma University Hospital

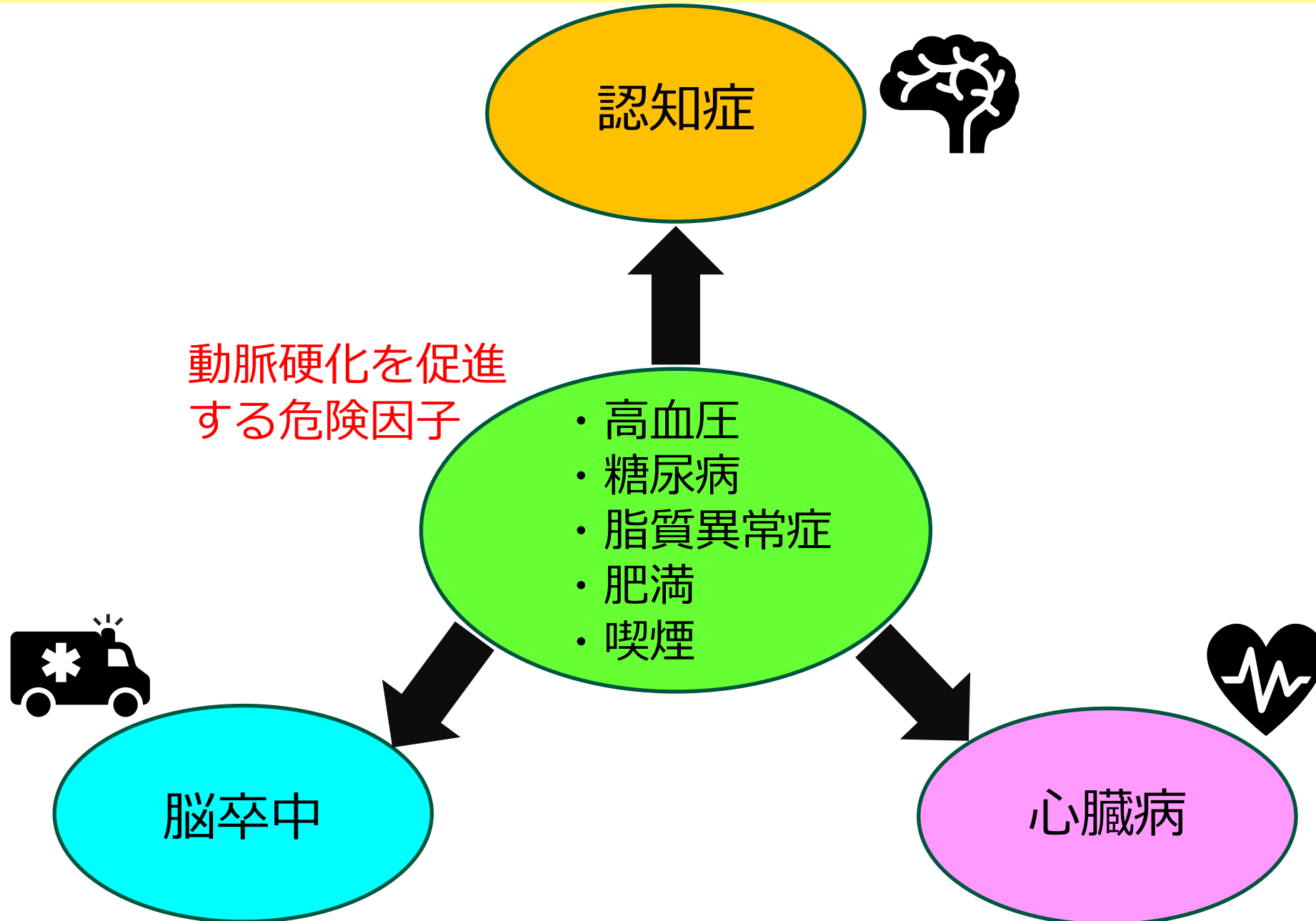
電話番号：027-220-8536  
住所：前橋市昭和町3-39-15  
受付日時：月曜日～金曜日 8:30～16:30(土日祝日・年末年始を除く)  
受付場所：外来棟1階 患者支援センター

主催：群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター/共催：群馬大学医学部附属病院 認知症疾患医療センター

ぐんまのうしん



血管をいたわることは認知症・心臓病・脳卒中から身を守ること



# 脳卒中患者の意思決定支援 研修会

日本脳卒中学会では、2019年から脳卒中における緩和と療養に関するさまざまなガイドラインや提言を整備してまいりました。さらに2024年にはこれらのガイドラインや提言を臨床現場で実践していくために、脳卒中患者に対する意思決定支援マニュアルを作成いたしました。宮本先生と藤井先生は、この意思決定支援マニュアル作成にたいへんご尽力なさいました。循環器病対策推進基本計画における重点施策の多くが回復期以後生活期の患者支援に関する内容となっており、脳卒中を含む循環器病に対する緩和が近年非常に重視されています。

宮本先生は日本脳卒中学会前理事長、そして上記の活動のプロジェクトチームの座長や厚労科研究班の班長をお務めであり、このたびは本邦の脳卒中患者とその家族の支援体制の発展に関してご講演いただきます。また藤井先生は回復期MSWのお立場から、回復期リハビリテーション病棟協会ソーシャルワーカー10か条のご紹介や、回復期リハビリテーションチームにおける意思決定支援でMSWが留意していること、などについてご解説いただきます。

日時

2025

2/7(金)18:30~20:00

参加料  
無料

定員:100名

会場

群馬大学医学部 臨床中講堂 (前橋市昭和町3-39-22)  
※オンライン併用でハイブリッド開催

講師



宮本 享 先生 (オンライン参加)

京都大学医学部附属病院

脳卒中療養支援センター・もやもや病支援センター センター長



藤井 由記代 先生

森之宮病院 医療相談室 社会福祉士



ぐんまのうしん君

お申込み

本研修会はZoomウェビナーを使用してハイブリッド開催します。以下の方法でお申し込みください。登録フォーム中に「対面参加/オンライン参加」の選択肢があります。



下記URL/左記二次元コードよりお申し込みください：

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_OrMuHdX4QyGfcioK6gVctw](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_OrMuHdX4QyGfcioK6gVctw)

※ お申し込みいただいた方には、Zoomウェビナーの参加URLをお送りします。

お申し込み締め切り: 2025年2月6日(木)

ウェブサイトでは「メール相談窓口」をはじめ  
日常生活に役立つコラムなども掲載しておりますので  
是非ご覧ください。

<https://gunma-heart-brain-support.org/>

群馬大学医学部附属病院  
脳卒中・心臓病等総合支援センター

ぐんまのうしん



Gunma  
Stroke and  
Cardiovascular Diseases  
Support Center, Gunma University Hospital

電話番号: 027-220-8536  
住 所: 前橋市昭和町 3-39-15  
受付日時: 月曜日~金曜日 8:30~16:30(土日祝日・年末年始を除く)  
受付場所: 外来棟 1階 患者支援センター

# 脳卒中患者の意思決定支援研修会

- 重症脳卒中における生命倫理について
  - 脳卒中特有の課題を踏まえた終末期ガイドライン策定について
  - 脳卒中維持期における緩和と療養・意思決定に関する提言について
  - 比較的軽症の脳卒中患者への就労支援・意思決定支援について
- 
- 患者さんや家族同士が支え合う『脳卒中サロン』の動画共有  
→患者さんの就労に対する支援不足を訴える生の声

脳卒中患者さんとそのご家族は、発症後も後遺症とともにずっと生活を続けていかなければならない。患者さんと家族をサポートするためには意思決定支援の流れを途切れさせない多職種連携の努力が必要不可欠である、というメッセージを共有。

ホームページは、海を越えて・・・

**(海外からの取材：URLの多国語対応が効果あった可能性)**

**KBS (韓国国営放送) 「生老病死の秘密」  
(韓国を代表する医学ドキュメンタリー番組) からの取材**

**“睡眠”の重要性と“睡眠時無呼吸症候群”の脳卒中・心疾患に対するリスクについての話題**



# 令和7年度ぐんま未来共創トライアル補助金事業（群馬県庁）採択 ーデジタル聴診器を使用したドックでの実用化ー

応募領域	医療・ヘルスケア
将来的に実現したい構想（ビジョン）	群馬県内における悉皆性ある心臓検診の実現と、心不全の早期発見による健康寿命延伸と心疾患死亡率の抑制
本補助事業期間における到達目標	超聴診器のドックにおける有用性の確認と、心不全早期発見の実証 心音データからの解析結果と、心臓超音波検査との一致度・補完性の確認 実運用時の検査時間、スタッフ負荷、フロー定義など、社会実装条件の明確化
事業実施の背景	医療過疎や感染症流行下での診療困難を背景に、超聴診器が開発された。 心疾患の早期治療により心不全など心臓のイベントが減少することが期待される。 群馬県は循環器疾患による死亡者数が多く、心不全早期発見に対する施策が必要である。 2025年3月には日本循環器学会ならびに日本小児循環器学会より「学校心臓検診のデジタル化に関する提言」が発出。
地域にどのようなイノベーションをもたらすか	ドックや健診段階での診断補助により、心臓死予防と健康寿命延伸に繋がる。 本事業からの知見を応用し、「DXを活用した心臓病早期発見モデル県」へ。
実証または実装の具体的内容	群馬中央病院でドック受診者に対して超聴診器を使用した心臓検診を行う。 AI解析による診断補助で判定がCDだった際には精密検査を行う。 小中学校心臓検診へ展開

令和7年度 くま未来共創トライアル補助金 採択案件

事業者	事業テーマ
サンダーバード株式会社 株式会社ニコン 株式会社アイ・フォスター	プロ選手の動きをVR化し、児童の運動意欲を引き出す次世代アクティブ・ラーニングシステムの開発
株式会社ヨコオ Zenmov株式会社 株式会社ミライト・ワン 群馬サファリ・ワールド株式会社	データと自動化技術で挑む“街の生産性改革”実証事業
矢島工業株式会社 群馬大学 TEAD株式会社	空域モビリティ用軽量・高効率アキシアルギャップモータと可変ピッチ型推力装置の開発
AMI株式会社 群馬大学 群馬中央病院	心音図検査を用いたドックにおける心臓検診での心不全早期発見プロジェクト

AMI株式会社  
群馬大学  
群馬中央病院

## 心音図検査を用いたドックにおける心臓検診での心不全早期発見プロジェクト

東京パワーテクノロジー株式会社 スマートグリーンエネルギー片品株式会社	な観光資源創造プロジェクト
株式会社スコープ 社会福祉法人みどの福祉会 高崎市農業協同組合	小売と福祉をつなぐ食品寄付アプリ『Donation Management』の社会実証
土田酒造株式会社 株式会社笑農和 小林仁志	自然栽培における水管理のDX化による持続可能な高品質酒米生産モデルの社会実証
株式会社PHOSLOOP 有限会社近藤スワイン・ビジネス キーストン・コンサルティング株式会社	未利用豚ふんたい肥を活用したバイオ炭肥料の製造プロジェクト
株式会社ナカダイホールディングス 株式会社ナカダイ 株式会社モノファクトリー 日本光電工業株式会社 サンデン株式会社 株式会社タカミヤ	サーキュラーエコノミー実現に向けた資源循環WEBシステムの構築・実証事業
ヤマハ発動機株式会社 群馬県森林組合連合会 一般社団法人日本森林技術協会	3次元デジタルデータを活用した新3K（「効率的に」「カッコよく」「稼げる」）林業の実現

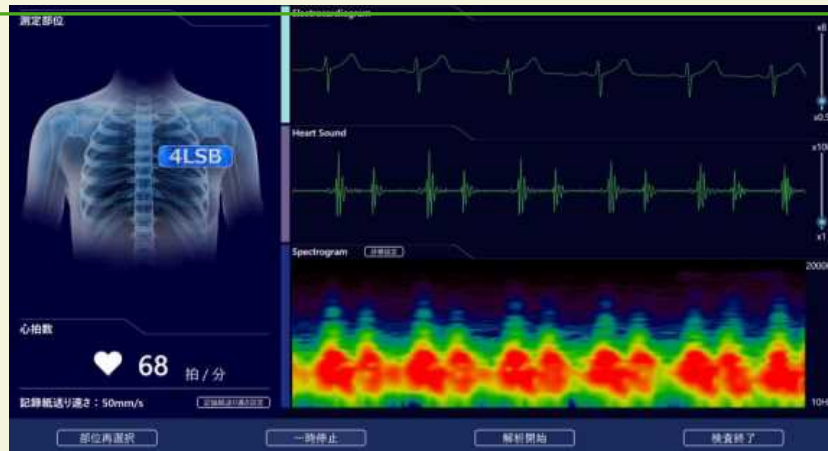
## ▶ 我々の想定する群馬の社会課題

- ✓ 群馬県の死因別死亡者数において、循環器系疾患による死亡が最多
- ✓ 特に心不全による死亡者数増加が顕著な傾向にある（いわゆる心不全パンデミック）
- ✓ 群馬県の健康寿命延伸に無症候性・無症状のうちから心不全早期発見に対する施策が求められている
- ✓ 「学校心臓検診のデジタル化に関する提言」では、学校における心臓検診の業務の質を落とさず効率的に実施するためのDX化が望まれている

本コンソーシアムでは「超聴診器」を開発したAMI社と群馬大学の共同研究により、「超聴診器」にAIを導入し、**遠隔診断補助を可能にする**テクノロジーを研究開発

### 「超聴診器」

AMI社が開発した感染症流行中によって通院を控える人・医療過疎地域で生活し通院が難しい高齢者に対して離れた場所からでも聴診を可能にした聴診器（特願2016-242407）



3月9日は  
脈の日

# 自分で検脈 早期発見!

—脳梗塞や心不全予防に重要です—



群馬大学医学部附属病院  
脳卒中・心臓病等総合支援センター長

石井 秀樹 先生

運動した際に動悸・息切れがあるのは、  
不整脈や心不全症状かもしれません。  
このような症状があったら、  
かかりつけの先生にご相談ください!

## 「心房細動は不整脈の一種、心不全や脳梗塞の原因に」

心房細動に罹患すると脈が速くなることが多く、動悸がしたり胸が  
苦しく感じたりすることがあります。しかし、脈が速くならないタイプの  
心房細動も半数あり、必ずしも症状があるわけではありません。そこで  
自身で脈を測る自己検脈が大事になります。

心房細動などの不整脈が原因で脳の血管が詰まる、心栓(心臓内  
で発生する血栓)や重症度の高いノックアウト型脳梗塞(心原性脳塞  
栓症)の予防のために検脈をしましょう。



多くの血圧計でも、脈の乱れが表示されます。  
何よりも、血圧を管理することは心房細動の予防には大事です!

群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター キャラクター  
「ぐんまのうしん君」

## 自分で脈を測ってみよう!

心房細動を早期発見するには、自分で脈を測る「自己  
検脈」が有効です。

やり方は片方の手首の親指側に反対の手の人さし指、  
中指、薬指の3本の指をあて、血管が脈打つのを確認し  
ます。その回数を1分間に何回あるか測ると自身の脈拍  
数がわかります。



## 脈拍数の目安は?

安静時の脈拍数は、一般  
的に1分間に50~60回が  
正常値です。



100回を超える場合や、不規則な  
脈がある場合は要注意!!

群馬大学  
循環器内科の  
取り組み

## 臨江閣と群馬県庁昭和庁舎を レッドライトアップ!

群馬県では、3月9日の「脈の日」にあわせて、臨江閣と県庁昭和庁舎を  
当該活動のシンボルカラーであるレッドにライトアップいたします。

- 3月9日⑧~12日⑨ 臨江閣 / 17:30~23:00
- 3月9日⑧~15日⑨ 群馬県庁昭和庁舎 / 日没~22:00



臨江閣



群馬県庁昭和庁舎

■主 催 / 群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター(ぐんまのうしん) 群馬心不全地域連携協議会 ■後 援 / 群馬県

※脳卒中や心臓病についてご質問がある場合、窓口相談やメール相談を受け付けています。お気軽にご利用下さい。

ぐんまのうしん

HPはこちら▶



# 脳卒中・心臓病予防の血圧管理キャンペーンを 群馬県内で実施中！



元気県ぐんま21(第3次)目標値は  
収縮期血圧 **125**mmHg未満です

対策  
その1



## 血圧管理

自宅や職場で血圧をはかりましょう。  
塩分に気を付けて  
適度な運動をしましょう！

対策  
その2



## 早期受診

目標値血圧以上の方は、  
かかりつけ医を受診しましょう！

群馬県健康課題は

# 高血圧です！

高血圧は、脳卒中・心筋梗塞の最大の要因です

元気県ぐんま21(第3次)目標値は  
収縮期血圧 **125**mmHg未満です

対策  
その1



血圧管理

自宅や職場で血圧をはかりましょう。  
塩分に気を付けて  
適度な運動をしましょう！

対策  
その2



早期受診

目標値血圧以上の方は、  
かかりつけ医を受診しましょう！

このホームページは、検索から入ります。検索結果は、実況値、状況値に於ける経過観察対象値を元に算出されています。

## ■群馬県における循環器病対策の主な取組を紹介します！

更新日：2023年11月22日  
最新情報ページ表示

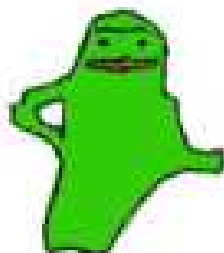
### イベント情報（脳卒中・心臓病等総合支援センターとの連携）

#### 【情報提供】

- ・【8月23日～10日】8月18日は「健康の日」です～群馬県庁情報公開サイトアップ～
- ・【8月12日】群馬大学医学部医科院に脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました（掲載リンク）
- ・【10月7日】「高血圧・高脂血症対策等におけるくまの健康づくりのしくみ」をテーマとしたセミナーを開催しました。
- ・【11月17日】健康と食生活を学ぶ。

#### 【情報提供】

- ・【8月22～28日】8月18日は「健康の日」です～群馬県庁情報公開サイトアップ～
- ・【10月28日】「くまの健康づくり」をテーマに「心臓病を予防して、いきいき生活しよう」と題して、高血圧・高脂血症・糖尿病の予防について、@群馬県庁情報公開
- ・【11月20日】今年で始まる健康づくり週間 @県庁発表資料はこちら



くまの健康力くん

（群馬大学医学部医科院に脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました）

#### 関連情報

2023年11月22日  
群馬県庁情報公開

#### 広告



渋川市育都推進部健康増進課健康推進係の  
全面的協力で渋川市で高血圧対策を開始



**20** 周年  
LEADERSHIP  
2025

# 渋川市家庭血圧チャレンジ市民講座 ～高血圧予防と健康づくり～

日時：2025年**10月21日(火)** 13:15～15:00

中心ム お知らせ センターのご紹介 養育・ご家族の方へ よくある質問 高血圧患者の方へ メール相談窓口

---

**第1部** 基調講演：13:15～14:15

血圧をしっかり測定して、脳卒中・心臓病を予防しよう!  
一家庭血圧125mmHgを目指してー

講師：石井秀樹先生  
群馬大学医学部附属病院 循環器内科 教授  
群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター センター長

**第2部** 血圧講座：14:15～15:00

血圧のはかり方講座 講師：松村 恵子さん / 梅地 悠里花さん  
群馬大学医学部附属病院 看護部

▶ 対象：市民の皆様（要申込・無料） ▶ 会場へのアクセス  
渋川市民会館  
住所：〒377-0008 群馬県渋川市渋川 2795  
電話番号：0279-24-2261  
[バス]「市民会館前」下車徒歩約1分  
[電車] JR 渋川駅から徒歩約2.0分

▶ 申込み：二次元コードよりお願いします



締切：10月17日(金)

▶ 電話での申込み・問い合わせ  
渋川市保健センター 0279-25-1321

オムロンヘルスケア株式会社の提供で  
会場での抽選会で「オムロン 血圧計」が当たります!  
正しい血圧のはかり方を学んで、ご家庭で活かしましょう!

群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター  
ウェブサイトでは「メール相談窓口」をはじめ  
日常生活に役立つコラムなども掲載しておりますので  
ぜひご覧ください。

<https://gunma-heart-brain-support.org/>



群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター  
「先住民さん専用血圧チャレンジ」に関する動画を公開しました!  
ぜひご覧ください!



群馬大学医学部附属病院  
脳卒中・心臓病等総合支援センター

<んまのうしん>

主催：群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター / 渋川市  
協賛：オムロンヘルスケア株式会社

# 食を絡めた脳卒中・心臓病対策も力を入れています

※群馬大学では、2025年食健康科学研究科が開校しました。

- ・心不全療養指導士の資格を持ったメンバーである管理栄養士から、減塩みそ汁実演（県庁にて）
- ・メンバーである摂食嚥下障害認定看護師を講師とした勉強会

など



# オーラルケアから、脳卒中・心臓病対策

・メンバーである口腔外科・歯科医師を講師とした県民向けの講演

健康と医療を考える。

群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター

## お口から元気！長生き！



群馬大学  
GUNMA UNIVERSITY



- 1) 群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座
- 2) 榛名荘病院 歯科

浅見 拓哉<sup>1,2)</sup>, 金 舞<sup>1)</sup>, 町田 知史子<sup>1)</sup>, 横尾 聡<sup>1,2)</sup>  
成清 裕子<sup>2)</sup>, 原田 規子<sup>2)</sup>, 赤松 恭子<sup>2)</sup>

ぐんまのうしん君は、日本循環器学会「すわん君」とのコラボによる広報も行ってます。



# 県庁の方との懇談会增加



のうしん活動を通じて、県庁の様々なイベントに参加するようになりました。写真は、新たに入局した循環器内科の先生方と県幹部の方と懇談の風景です。

# 令和6年度 特定健診・特定保健指導実践者研修会（循環器病編）



- 目的：循環器病についての理解を深め、特定健診・特定保健指導に活かす。
- 受講対象：自治体、医療機関、保険組合等で特定健診や特定保健指導に従事する者又は今後従事する予定のある者等。

日時：令和7年1月31日（金）14:00～16:00



オンライン  
(Teams)

14:00～開始

14:05～14:35

**「心不全はこんな症状に注意!-心臓病の現状も踏まえて-」**

群馬大学医学部附属病院 循環器内科 教授 石井 秀樹 先生  
(群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター センター長)

14:35～14:40 質疑応答

14:40～15:10

**「健診・保健指導の効果を高める脳卒中の知識」**

群馬大学医学部附属病院 脳神経外科 教授 大宅 宗一 先生  
(群馬大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター 副センター長)

15:10～15:15 質疑応答

15:15～15:45

**「脳卒中・心臓病等を防ぐ栄養指導（仮）」**

群馬大学医学部附属病院 栄養管理室 下谷 幸 管理栄養士

15:45～16:00 質疑応答

[申込方法]

(インターネット回線URL)

<https://logoform.jp/form/9cfD/869880>



(LWAN回線URL)

[https://tb.logoform.st-](https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/9cfD/869880)

[japan.asp.lgwan.jp/form/9cfD/869880](https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/9cfD/869880)



申込メ切

1/27 (月)

[注意事項]

- ・ 受講料は無料です。ただし、通信費等は自己負担となります。
- ・ Microsoft Teams会議を使用します。お申込みいただいたメールアドレスに研修会前日までに入室用URL及び資料をメールにて送付します。

[問合せ先]群馬県健康長寿社会づくり推進課 健康増進係 027-226-2604

可愛いだけじゃない?  
病院や地域で躍動する  
ゆるキャラ  
No.1  
が決まる

# 病院ゆるキャラ総選挙2025

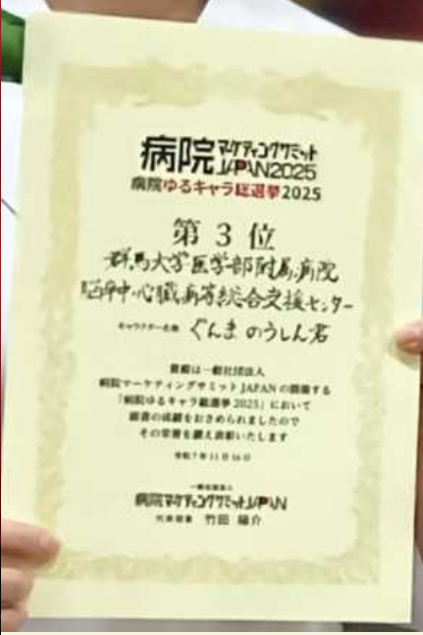
11.16 (日) 14:00-16:00

会場 聖仁会看護助産専門学校 研ナイチンゲールホール

- |   |                      |   |                             |
|---|----------------------|---|-----------------------------|
|   |                      |   |                             |
| アイアイるラブリイミヤ<br>聖仁会看護助産専門学校<br>大塚キャンパスのゆるキャラ | くーちゃん<br>聖仁会看護助産専門学校 | ぐんま ゆうしん君<br>聖仁会看護助産専門学校<br>聖仁会看護助産専門学校 | まくのちゃん・十字郎くん<br>聖仁会看護助産専門学校 |
|   |                      |   |                             |
| たまりん<br>聖仁会看護助産専門学校                         | なごみ・ひかる<br>聖仁会グループ   | 養生兄弟<br>聖仁会看護助産専門学校                     | ブルの助<br>聖仁会看護助産専門学校         |



病院ゆるキャラ総選挙  
2025  
第3位入賞!



# これまでの事業で見た成果と課題

---

## 【成果】


- 脳卒中・心臓病予防の啓発活動が活発になった
- 他自治体と比較し、県庁など自治体と共同で活動がなされることが多い
- 県・国をまたいで事業をアピールできるようになった

## 【課題】

- 窓口や、メールでの相談件数がまだ低調である
- 県内すべてに対する広報活動がまだできていない可能性がある

## 【解決策】

- 各医療圏において、中核病院に同様の役目を担っていただく必要がある



3月9日脈の日・8月10日健康ハートの日  
群馬県庁昭和庁舎など赤でライトアップ

10月29日世界脳卒中の日 重要文化財臨江閣ライトアップ°

